

「創業の思いをつたえる—京都の企業記念施設と創業者資料」

<趣旨>

京都に本社を置く企業では、近年、社員向け研修施設としての創業者記念施設を開設する動きが相次ぎました。各社とも事業のグローバル展開が進む中で、企業理念の浸透や多国籍化する社員の一体感を高めるため、創業者の精神や軌跡を学ぶ研修施設が必要とされているとの報道もあります。また京都では、特色のある企業博物館、資料館がこれまでも数多く開設され、多くの見学者、利用者が訪れています。

こうした企業の展示施設や創業者に関する資料は、当該企業の社員のみならず、広く社会的にも意義を持つ貴重な資源であり、経済学・経営学にとどまらず幅広い分野の研究者の関心を惹きつけているということがいえます。創業の思いや企業の軌跡をどのように資料として形に残し、現在の人々や後世に伝えていくかは、企業の担当者や大学・資料館のアーキビスト達にとっても重要な課題です。

以上の背景をふまえ、京都大学大学院経済学研究科・経済資料センターでは、各企業の施設の担当者と研究者、図書館職員、学生等が交流し、双方の知見を共有する場として、セミナーの開催を企画しました。資料の収集・整理・保存・展示に関わる、各企業の取り組みや抱える課題について議論し、交流・連携のきっかけとするとともに、広く社会に企業資料保存の意義を喚起する機会としたいと考えております。

<開催概要>

- ・開催日時:2019年2月20日(水)午後2時～午後5時
- ・会場:芝蘭会館別館2階 研修室2 (京都市左京区吉田牛ノ宮町11-1)
- ・プログラム(予定):司会:水島 和哉(経済資料センター 研究員)
 - 14:00～14:10 開会あいさつ 岡田 知弘(経済資料センター センター長、経済学研究科 教授)
 - 14:10～14:40 基調報告「経済史研究と歴史資料」
 - 下谷 政弘 氏(住友史料館 館長、京都大学名誉教授)
 - 14:40～15:25 各施設担当者からの報告
 - 山崎 耕太 氏(宝ホールディングス歴史記念館 運営管理室 室長)
 - 平尾 嘉之 氏(宝ホールディングス歴史記念館 運営管理室 副室長)
 - 平田 智子 氏(日本電産株式会社 人事部長 兼 女性活躍推進室長)
 - 末岡 照啓 氏(住友史料館 副館長)
 - 15:25～15:35 休憩
 - 15:35～16:05 パネリストからの報告
 - 武田 晴人 氏(東京大学名誉教授)
 - 村橋 勝子 氏(社史研究家)

16:05～17:00 登壇者によるパネルディスカッション

コメンテーター:

末松 千尋 氏(経営管理大学院・経済学研究科 教授)

五島 敏芳 氏(京都大学総合博物館 講師)

元 ナミ 氏(京都大学大学文書館 助教)

モデレーター:

渡邊 純子(経済資料センター 副センター長、経済学研究科 教授)

17:15～19:15 情報交換会(同館研修室1にて) 会費2,000円(予定、当日頂戴いたします)

<参加について> 参加無料。準備の都合上、2月14日(木)までに下記アドレスの申込フォームにて事前登録をお願いいたします。

申込フォームアドレス: <https://goo.gl/forms/1suH5GSTzfD9vA2n2>

<会場アクセス>



(交通案内)

・京都市バス「京大正門前」から旧白川通を南西方向へ徒歩2分北側

・京阪出町柳駅から徒歩約15分

<主催> 京都大学大学院経済学研究科 経済資料センター

<連絡先> 〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL:075-753-3416 FAX:075-753-3490
E-mail:chousa@econ.kyoto-u.ac.jp